

令和4年度 地域活性化助成事業 実績一覧表

【第1部：前期】

(単位:円)

No.	団体名	推薦市町村	事業名	事業内容
1	琉球弧の無形民俗文化財を考える会	那覇市	琉球弧の無形民俗文化財の危機を考える連続シンポジウム	存続の危機にさらされている、琉球弧に存在してきた無形民俗文化財の現状を、専門家、研究者の皆さんから報告いただき、今後の保存継承のあり方を、県民の皆さんとともに考えていくための連続シンポジウムを開催した。
2	八重山探検隊	石垣市	石垣島民話の里めぐり	石垣島に残る民話の里を子どもたちとめぐり、方言で語る民話や民謡に触れる機会をつくり、八重山の文化や歴史に興味、関心を持ってもらった。また、パンフレット作成のためのワークショップを行い、著作権をはじめとする情報管理の知識を身に付けさせた。
3	浅野浦自治会	浦添市	桜のまち浅野浦宣言と自治会活動	持続可能な自治会活動を目指し「桜のまち浅野浦」宣言を行い、まちづくりの目標とした。基調講演や記念植樹、ロゴ作成を行い、桜を増やすことだけでなく、地域の人々の心の中で「春爛漫と咲き続ける」自治会活動を行うことができた。
4	(公社)青年海外協力協会 沖縄事務所	浦添市	地域の魅力再発見☆目指せうらおそいマスター	浦添地域の若い世代を主なターゲットに、浦添の歴史・文化に触れながら、平和やSDGsについて楽しく学べる教育コンテンツを地域住民と一緒に作り、実際に体験してもらうことで、地元への誇りを高めると同時に、世代間交流を促すきっかけとなった。
5	あかゆらぬ花会	南城市	自然環境観察会・地域づくり勉強会	地域の自然環境を観察し、生物の生態などをメモにして、人間生活に役立つ資料として整理した。専門家が現地で行う観察手法や姿勢、資料等の整理方法を学び、観察結果を小冊子にまとめあげ、地域づくりにも役立てることができた。
6	大里グリーンタウン自治会	南城市	作品展事業	コロナ禍で全ての行事が中止となり、会員の親睦・交流が閉ざされ、絆が分断されていた。今回の作品展では、ふれあいサロンや、子どもたちの物づくり教室などを盛り込み、会員相互の文化交流の促進と、地域の文化活動の活性化を図ることで会員の絆を強めることができた。
7	ユナムンダクマ協議会	国頭村	持続的な与那区伝統行事実施体制強化事業	与那区には、女性だけで歌い踊る伝統行事がある。しかし、過疎化による女性の減少とコロナの影響もあり、行事継続が難しくなっていた。そこで、元京都教育大学の先生を招聘し話を聞く機会を設け、歌の方言歌詞入りDVDを作成し配布することで、伝統行事を持続可能なものにできた。
8	くがにまーる@くめじま	久米島町	みんな生き生き、笑顔いっぱい 未来につなぐ地域活性化事業	コロナ禍で孤立する親子の心配があり、大切にしてきた自然や文化についての継承も危機的状況となっていた。そこで、子育て支援に関する4つの分野の活動を実施し、人と人を繋ぎ、学ぶ機会を設け取り組んだ。心豊かに暮らしを楽しむことを目的とし、未来に向けた後継者の育成も行うことができた。
9	新城自治会	八重瀬町	心と体の食作り	食育講師を招き、食育に関する講座を開くとともに、学校の長期連休期間に講師と保護者で子どもたちへ食事を提供した。学童待機児童等、地域の子どもを見守り、食への関心を高めていくことができた。

10	波照間★ロボットクラブ	竹富町	「Let'sプログラミングロボット製作♪」波照間プロジェクトII	ロボット製作の機材を購入し、専門知識のある講師を招聘することでワークショップ等の体験活動を行った。今年度はロボットコンテスト全国大会出場を目指し、将来の波照間島を牽引する人材の育成を行うとともに、持続可能な活動ができた。
11	ベスマケーしゃはんプロジェクト	竹富町	ベスマ ケーしゃはん スタ ディーズ ～未来につなげよう！ 私たちの海と島～	環境保全団体やSDGsゲームファシリテーターを招いて、講和やゲーム体験会を企画運営した。イベントを通して、海洋ゴミ回収の際に感じた諸問題についての解決策を楽しみながら見出すことができた。また、今後の人材育成やさらなる活動へと発展させることもできた。

【第1部：後期】

(単位:円)

No.	団体名	推薦市町村	事業名	事業内容
1	子どもの権利条約フォーラムin那覇／沖縄実行委員会	那覇市	子どもの権利条約フォーラムin那覇／沖縄	本事業は、毎年全国各地で開催されている「子どもの権利条約フォーラム」の第30回目の大会であり、子どもの権利実現に向け、子どもの権利に関する市民の理解を広げ、一般市民が子どもをめぐる社会課題に気づき、主体的に参画するきっかけづくりができた。
2	特定非営利活動法人あきみよ	浦添市	沖縄伝統文化・地域資源の保存と活用を図る体験事業	地域の特産品を活用し、沖縄の食・工芸に関する体験型のワークショップを開催することで、沖縄文化の価値を再認識し、誇りや愛着の醸成に繋げることができた。
3	うるま市立南原小学校PTA	うるま市	勝連城跡へ続くアートロード	勝連城に至る県道16号線沿いの南原小学校の外壁に壁画を描くことで、南風原地区の新しい魅力を創造・発信し、アートを通して地域の魅力を再認識してもらうことができた。
4	「地域に緑と花を」イッペー会	うるま市	イッペー森まつり&ベタンク競技交流大会	地域の方々が協力して植栽したイッペーの森を会場として、イッペー森まつりとベタンク競技交流大会を開催。事業を通して、地域で作り上げたイッペーの森を広く周知する機会となり、地域住民の交流の場を作ることができた。
5	赤道区自治会	うるま市	フラワーガーデン・フラワーフェスティバル事業	公民館に隣接する遊休地を活用して、地域住民で協力してフラワーガーデンを整備。整備後に、フラワーフェスティバルを開催し、フラワーガーデンを地域の癒しの場にするとともに、地域での世代間交流の促進に繋げることができた。
6	安慶名グスク祭り実行委員会	うるま市	安慶名グスク祭り	琉球史において重要な役割を果たし、地域の校歌に歌われるなど、古くから親しまれたグスクである安慶名グスク城跡を会場として、交流イベントを開催し、伝統文化の継承、青少年健全育成及び世代間コミュニティの活性化に繋げることができた。
7	馬天小学校PTA	南城市	第3回津波古子ども文学賞	地域の児童・生徒から作文・絵画を募集する「津波古子ども文学賞」を実施し、子どもたちの基礎学力の向上を図るとともに、青少年の健全育成に繋げることができた。
8	つはこ花咲かす会	南城市	コスモスまつり	津波古ハッピー広場を地域で協力して、コスモス畑に環境整備し、コスモスまつりを開催した。事業を通して、ハッピー広場が住民の憩える場所となり、地域の連帯感及び地域愛の醸成に繋げることができた。

9	一般社団法人北谷町観光協会	本部町	情報発信力向上SNS活用講座	本協会の会員及び地域の方々を対象として、情報発信力の向上を目的として、SNS活用講座を開催。事業を通して、地域の情報を多くの方々が発信することで、誘客の向上に繋げ、地域経済の活性化に貢献できた。
10	Cha-Ashibi	北谷町	海について学び、環境保全や地域活動を通して、人と繋がり活性化を目指す事業	子ども達や若い世代を対象に、ビーチクリーンやワークアウトなどのイベントを開催。事業を通して、環境保全意識の醸成や地域を超えた交流の促進に繋げることができた。
11	八重瀬町長毛自治会	八重瀬町	地域に根ざす子ども育成プロジェクト（グローバルな情操豊かな人材作り）	公民館を拠点とした世代間交流や子どもたちの人材育成を目的に、毎週土日にヨガや音楽、英会話などのワークショップを開催。事業を通して、子ども達の可能性を広げることができた。
12	新城子ども会育成会	八重瀬町	心と体の食育	食育講師を招き、子育て世代や高齢者世代を対象に食育に関する講座を開催。事業を通して、食への関心を高めるとともに、世代間交流を生むことができた。

【第2部】

(単位:円)

No.	団体名	推薦市町村	事業名	事業内容
1	中城村	—	子ども達による創作組踊「糸蒲の縁」上演事業	創作組踊「糸蒲の縁」は、新興住宅地として発展する中城村南上原地区において、新旧住民の多世代交流を図り、地域活性化を目的として、平成24年に南上原自治会により上演されている。 南上原組踊保存会は、この貴重な組踊を保存継承していく目的で結成され、平成27年からは子どもの部を開設し、子ども達による組踊を毎年上演している。 本事業で、小・中学生からなる新キャストによる創作組踊「糸蒲の縁」の上演とおし、伝統芸能である組踊を継承し、青少年健全育成及び地域活性化に繋げることができた。